

アナログアキュライザーの導入(23)

—適用箇所を検討(19)—

1. 始めに

前報(22)に引き続き、デジタル再生に戻って適用箇所の検討を行います。

2. アナログアキュライザーの試聴方法

前報(22)では、モバイルの Bluetooth 出力に使用してみましたが、やりようによっては、かなり満足度の高いレベルになることが分かりました。

そこで Bluetooth レシーバーとして Sonica DAC を使用し、下記の再生経路でアナログアキュライザーは DA-3000 の入力端子に装着します。

iPad/iPhone→Sonica DAC→AACU-1000→DA-3000→Brooklyn DAC+
→P&G フェーダー→300B シングルアンプ



音源は、iPad/iPhone 収納音源の再生の他、Spotify や Amazon Music や PrimeSeat のストリーミング再生です。

3. アナログアキュライザーの試聴結果

再生経路中の DA-3000 に AACU-1000 を装着する効果は、すでに音楽放送番組の録画や BPODCH において確認済ですが、Bluetooth レシーバーとして Sonica DAC を使用する場合にもその例にもれず、前報(22)の Bluetooth レシーバーとして LBT-AVWAR700 を使用した場合を超える音質を示しました。Sonica DAC が Bluetooth レシーバーと DA コンバーター機能を兼ねており、それぞれの機能のレベルが高いことが分ります。

4. まとめ

Pad/iPhone の収納音源の再生の他、Spotify や Amazon Music や PrimeSeat のストリーミング再生において、Bluetooth レシーバーとして Sonica DAC を使用することにより、再生経路中の DA-3000 に AACU-1000 を装着する効果を認めました。

以上